

# 授業改善につながる授業研究の進め方

授業をデザインする中で全職員が  
参観の視点を共有します

授業では子どもの姿に視点を置きます

## 授業デザイン

なぜこの授業を行うのか、子どもの姿を  
ふまえ、授業のねらい等を明らかにする。

## 指導案検討 〈検討の視点〉

- 研究テーマに基づいているか
- 子どもの実態をふまえた具体的  
な目標を設定しているか
- 課題設定は適切か
- 教材観は明確か
- 評価項目、評価方法  
は適切か
- 課題をふまえた振り  
返りの場面が設定さ  
れているか など

授業者

子どもの反応に対し  
柔軟に授業を展開する。

参観者

子どもの表情の変化や  
つぶやきを見逃さない。

事前検討

研究授業

研究テーマ

再構成

事後検討

次の授業研究に  
向け改善します

授業で子どもは何  
をどのように学ん  
でいったのか語り  
合います

## 協議を効果的に進めるための工夫例

- 付せんを用いたワークショップ等  
を導入するなど、協議の焦点化に向  
けた工夫を図る。
- ビデオ記録等を、授業場面の共有  
や自身の授業のふり返りに活用  
する。
- 外部講師等を活用し、助言や評価  
を受ける。

## 《大切にしたいこと》

- 協議の柱を明確にし、焦点化を図る。
- 本時のねらいが達成できたか、子どもの学び  
や変容に基づいて語り合う。
- 参加者全員が語る。
- 授業研究会で学んだことから一人ひとりが  
具体的な授業改善策を持つ。
- 授業研究会の成果を記録に残し、次の授業研  
究会の視点を明らかにする。

# 日々の授業改善